



平成 25 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 SmartEbook.com  
代 表 者 名 代表取締役 安嶋 幸直  
(JASDAQ・コード 2330)  
問 合 せ 先 取締役財務部長 飯田 潔  
電 話 092-263-5911

平成25年12月期 第2四半期連結業績と前年実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成25年12月期第2四半期（平成25年1月1日～平成25年6月30日）の連結業績と、前年同期（平成24年1月1日～平成24年6月30日）の連結業績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 12 月 期 第 2 四 半 期 連 結 業 績 と 前 年 実 績 と の 差 異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
平成 24 年 12 月 期 第 2 四 半 期 実 績 (A)	258	△415	△368	△375	円 銭 △170.92
平成 25 年 12 月 期 第 2 四 半 期 実 績 (B)	161	△685	△669	△683	△311.64
増減額 (B-A)	△96	△269	△301	△308	—
増減率 (%)	△37.5%	—	—	—	—

2. 業績の概要

平成 25 年第 2 四半期におきましては、将来、成長力が有望な国での現地通信キャリア向けプラットフォームの提供を推し進めるため、インド、ベトナムに子会社を設立するとともに、メキシコ、ブラジル、インドネシアでの子会社設立準備と同時に、現地プラットフォーム向けの配信タイトルを確保するため、スペイン、メキシコ、ベトナム、インドネシアの大手出版社とのライセンス権利獲得を進めてまいりました。また、プロモーションとして国内と中国にて、フリーミアムを実施し 26 万人を獲得いたしました。しかしながら、プロモーションの成果については売上につながるまで数ヶ月を要することと、海外において、新規サービス開始時期が第 3 四半期に変更になったことから、売上は、減収となりました。利益面については、海外展開サイトの増加による費用が増加と、国内プロモーションの実施により、営業損失は増加いたしました。

この結果、売上高、161 百万円（前年同期比 62.5%減）、営業損失 685 百万円（前年同期は営業損失 415 百万円となり、経常損失 669 百万円（前年同期は経常損失 368 百万円）四半期純損失 683 百万円（前年同期は四半期純損失 375 百万円）となりました。

以上